わだの丘

和田だより　第519号　（令和4年5月31日）

学校HP　QRコード

中庭に咲くアンネのバラ

コロナ禍でも成長し続ける６月に

気温が上がり暑さを感じる日も増え、いよいよ季節は夏を迎えました。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。これから梅雨に向かうとは思いますが、しばらくは、初夏の日和を楽しみにしたいものです。ゴールデンウィーク後のコロナウイルス感染症の状況は思ったより増加することなく、相変わらずの感染者数が報告されてはおりますが、感染予防対策を行いながら学校の教育活動を進めているところです。

さて、５月１８日から２０日まで、３年生は２泊３日の修学旅行へ行ってまいりました。本来は長崎方面で計画していた修学旅行もコロナウイルス感染症の関係でコースを変更し、広島、香川方面への旅行となりました。変更に際して、すでに全国の中学校も同様の動きになっていたことから、広島や高松のホテルがうまく取れるかどうかが大きな問題でしたが、旅行業者にも大変お世話になり、ホテルが確保でき修学旅行を５月に実施することができました。一昨年、昨年とコロナウイルス感染症の状況は厳しく、延期や行程の変更を繰り返し、最終的に日帰りの旅行となったことから、なんとか本年度は宿泊を伴う旅行を体験させてやりたい気持ちでいっぱいでした。今回の旅行は感染リスクを考え、健康管理にはかなりの神経を使い、２週間前からの体調には保護者の皆様も含め、多くの方々が気遣われたと思います。全員参加とはなりませんでしたが、参加した生徒は３日間、体調不良になることもなく過ごすことができました。保護者の皆様をはじめ、関係の方々に深く感謝申し上げます。宿泊を伴う旅行の思い出というものは自身の経験でも未だに鮮明な記憶として残っており、忘れられません。この体験をどうしても３年生にしてもらいたいと思っておりました。出発前日の結団式の集会で、生徒に話す機会をいただきましたが、生徒の目標は「旅行を楽しむ」ことにあると思いますが、いろいろな学習や体験をしてもらうことはあったとしても、私自身の一番大きな目標はやはり、「全員無事に舞鶴に帰ってくる」ことでした。そのためには、３年生の生徒の協力が不可欠となります。それを集会で伝えさせていただいたのですが、生徒は本当に意識して行動をしてくれたと思います。３日間天候にも恵まれ、逆に暑いくらいでしたが、２日目に訪れた日本三景の一つ宮島の景色は素晴らしかったです。海にそびえ立つ有名な厳島神社大鳥居は修復中で観ることができませんでしたが、本殿と海の景色に心を癒されるひと時を過ごせたと思います。

厳島神社本殿での集合写真

ところで、無事には戻れたものの、いろいろな課題もありました。３年生は今回の旅行で最初に訪れた京都市では龍谷大学へ行かせていただき、大学生を相手に、総合的な学習の時間で取り組んでいる「和田クエスト」の内容をプレゼンテーションしました。本当に立派な発表で、大学生相手に自信を持ってプレゼンテーションする姿に感動いたしました。この後、京都を離れ、他地域へ向かうわけですが、この立派な発表を見て、自信を持ってどこでも通用する生徒であると感じていたのですが、さすがに、他地域では通用しない行動や迷惑をかけてしまった見学先の施設もあり、人としては、まだまだであるとも感じました。期待を込めて、今後も多くの学びの機会もありますので、全国どこへ行っても通用する、そんな人に成長してほしいですし、この３年生なら必ずできると願っております。

先日のニュースでもありましたが、国では、感染対策としてのマスク着用の位置づけは変更しないとしつつも、マスクの着用が必要ない場面についての見解を述べています。マスクについては、まだまだ不安な要素もありますが、この６月の最初の土日は、早速、市民スポーツ祭が実施されます。気温も上がってくる中でマスクの着用も考えなければなりません。また、１・２年生も人数の関係でフル出場してもらわなければならない部活動もあります。本年度もコロナ禍であることから、健康管理の徹底が必要で、観客等の人数制限のある会場もあり、保護者様におかれましては来場には前もって申請が必要となります。お時間がございましたら、ぜひ、会場に足を運んでいただき、試合に懸命に取り組む生徒の姿を見ていただければと思います。大会後には、２年生職場体験など、校外での学習や他地域に出かけて取り組む活動もあります。
今後も皆様のお力をお借りしながら、コロナ禍での様々な行事の運営に取り組んでいきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長　荒賀　洋